

日本イメージ心理学会第 22 回大会
プログラム・発表論文集

JIA
2021



「輪・話・和」

2021 年 12 月 4 日
(オンライン開催)

ご挨拶

日本における新型コロナウイルス感染症の状況は、一時期心配された夏から秋にかけての急速な拡大傾向が収まりつつあり、現在のところリバウンドも見られず、町を歩き交う人の数も少しずつ増えて参りました。一方、世界に目を向けますと、今まさに日ごとの新規感染者数が最大規模に至っている国もあります。ウィルスの変異の問題もあり、予断を許さないところではありますが、この世界的な災禍に対して、情愛を持って人に向き合い、科学的であり理知的な対策が取られ、次代への新たな希望が見出されることを願っています。

思えば、これほどまでに他者との交流が制限された長期におよぶ非日常的な生活は、私たちにとって初めての体験になるかと思います。しかしながら、一方で、オンラインを通じた交流によって活路を開き、生産的な活動へとつなげていく試みも続けられています。日本イメージ心理学会も、昨年度、新たなチャレンジとして、初めてのオンライン開催を行い、第21回大会の準備委員の先生方のご尽力と会員の皆様のご協力によって、通常時と変わらぬ数の参加者を迎えて、盛会となりました。

一番強く感じられたのは、発表者や質問をする方々の伝えようとする、そして、聴取者の理解しようとする意思の強さだったように思います。もちろん、状況的にスライドを間近で見ることができ、普段よりも細部に目を凝らすことが出来ましたし、説明も聞き取りやすかったことは確かです。しかし、離れた相手だからこそ、伝える大切さを感じ、言葉を選び、そして丁寧に話され、また、耳を傾けてじっくり聞く喜びがあったのだと思っています。

表紙の図案は、そのような思いもあって作成してみました。本年度は、当初から遠隔での開催が企画されましたので、開催校というものを設けず、遠隔地の仲間でグループを組み、準備委員会を構成しました。5つの色は、それぞれの委員の本務校がWebページで採用しているイメージカラーとなっています。図案のタイトルは「輪・話・和」(ワ・ワ・ワ)としました。輪をもって、話をなし、和を願うという意味を込めました。

今年度、第22回大会では、オンライン開催としては2回目となりましたので、前回の手続きを継承しながらも、新たな試みとして、1日のみの開催でスケジュールを組むことにしました。本大会が新たな気づきや発想の場になり、皆様と一緒に、ワ・ワ・ワな密度の濃い1日を過ごすことができれば幸いです。

日本イメージ心理学会第22回大会準備委員会事務局

準備委員長：鈴木賢男（金沢学院短期大学）

準備委員：鈴木国威（就実大学）

準備委員：大平泰子（富山国際大学）

準備委員：堀内正彦（駒澤大学）

準備委員：松野真（昭和学院短期大学）

ご案内

(1) 日程

2021 年 12 月 4 日 (土)

(2) 大会日程

受付	9:00~17:00
挨拶	9:10~ 9:20
研究発表 I	9:20~10:40
休憩 (10 分)	
研究発表 II	10:50~12:10
昼食 (50 分)	
フリーディスカッション	13:00~13:40
休憩 (20 分)	
招待講演	14:00~15:00
質疑・休憩 (30 分)	
研究発表 III	15:30~16:30
休憩 (30 分)	
総会	17:00~17:30
懇親会	17:30~19:00

(3) 大会参加のご案内

以下のフォームより参加登録して頂ければ、当日のオンライン会場 (Zoom) の URL 及び ID・パスコードをご連絡いたします。

参加当日も受け付けていますので、こちらのフォームより参加登録をお願い致します。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeK0AaohN-LnTCUnHx4PbJpV3OQ8ZyyGjRUINy7aVduJVBh4w/viewform>



(4) 大会参加費等

正会員、学生会員 参加 0 円

非会員 参加 当日参加 1,000 円 ※

懇親会費 0 円

※ 非会員の方の参加費支払い方法は参加申込後に別途お知らせ致します。

(5) 運営委員会

大会 Zoom 情報とは別に、事務局から運営委員会関係者宛に案内メールが送信されます。

※運営委員会は前日 12 月 3 日 (金) 17:00~18:00

(6) 総会

大会 Zoom 情報とは別に、事務局から案内メールを送信します。そちらから、ご参加下さい。

(7) 懇親会

大会 Zoom 情報とは別に、事務局から案内メールを送信しますが、会議コードは大会と同じです。

(8) 受付

Zoom 入室後、表示名に参加登録頂いた名前と所属を明記して下さい。参加登録頂いた中に一致する情報がない場合には、退室して頂くことがあります。ご了承の程よろしくお願い致します。

(9) 研究発表

【参加者の方へ】

- ・基本的に、ビデオ OFF、マイク OFF でご視聴ください。
- ・個別チャットを利用可能にしますので、個別に挨拶や会話などをしたい場合には、自由にお使い下さい。但し、個別チャットの管理に関しては、大会準備委員にはできかねますので、各自のマナーや判断のもとご利用下さい。
- ・著作権保護の観点から、発表時に配信されるコンテンツの撮影、録音等を行うことを禁止させて頂きます。但し、主催する大会準備委員が報告に使用するため、撮影を行うことがあります。

【発表者の方へ】

- ・発表は口頭発表形式で行います。口頭発表の担当時間は20分です。各セッション全体で発表時間の他に質疑応答を含めた20分の余裕があります。進行は、座長の指示によって進めます。
- ・発表者は、自分の発表だけでなく、そのセッションすべてへの出席が求められます。発表するセッション時には、必ず Zoom に入室しておいて下さい。
- ・発表者は、一時的に共同ホストに設定します。発表は、Zoom の画面共有機能を利用し、ご自身の PC の画面を共有してください。画面共有の準備やマイクの音声チェックは、前の発表者が発表を終えた後、2分程度の時間の余裕があります。この時間内に準備を行って下さい。
- ・事前に Zoom の接続テストを行いたい場合には、受付開始前の 8:30~9:00 に大会用 Zoom ミーティングルームにお越し下さい。担当スタッフがサポート致します。
- ・オンライン発表は著作権法上の公衆送信にあたると考えられます。発表で画面共有されるスライドや映像・音声などのコンテンツは著作権上問題のないものに限るようご留意下さい。
- ・当日の通信環境や機器の不具合がある場合、大会準備委員にて十分なサポートができない可能性がありますこと、あらかじめご容赦ください。

【質疑応答について】

- ・質疑応答を行う場合には、ビデオを ON にしてお待ちください。
- ・司会者がビデオ ON になっている方にマイクを通して合図しましたら、ご自身のマイクを ON にして質問をお願いします。
- ・チャットによる質問には応じかねます。チャットで質問をしても回答されないことを予めご了承下さい。
- ・但し、発表後に連絡を取りたい場合などは、個別チャットを利用可能にしておりますので、そちらをお使い下さい。但し、個別チャットの管理に関しては、大会準備委員にはできかねますので、各自のマナーや判断のもとご利用下さい。

[12 月 4 日 (土) 14:00~15:00]
企画者・司会者: 鈴木国威 (就実大学)

嫌悪的な質感の研究

—視覚的な湿り気知覚の感性的質感認知—

講演者: 岩佐和典 (大阪府立大学大学院 人間社会システム科学研究科)

我々の主観的体験, もしくは意識そのものに迫る研究手法として, 心的イメージの測定や操作はひとつの王道だと言えるだろう。そして, これと同様のフォーカスを持ちつつ, いくぶん異なる角度から光を当てようとするのが質感研究である。古びた木製家具がもつ「味」のある質感や, 口に含んだ羽二重餅の柔らかな質感など, 我々の生活は実に様々な質感で満たされている。質感研究においては, こうした豊かな意識内容を題材に, それを生み出す刺激の物理的性質や, その情報処理を担う脳の働き, さらに任意の質感を生み出すための工学的手法などが検討されてきた。特に快不快や美醜といった感情的評価を含めた質感は, 感性的質感と呼ばれている (本田, 2016)。本講演では, 質感研究の代表的な知見に触れつつ, 特に湿り気を題材として行われた一連の感性的質感研究を紹介する。湿り気は嫌悪的な触覚次元として知られるが (Oum, Lieberman, & Aylward, 2011), 我々は対象物に触ることなく, 視覚のみに依っても湿り気を検出できる。湿り気は雑菌増殖の条件のひとつであり, その視覚的検出と, それに伴う嫌悪反応には, 汚染的な環境との物理的接触の回避を容易にするという点で一定の適応的価値がある。はたして, こうした湿り気の視覚的検出はどのようなメカニズムによって支えられているのだろうか。また, ひとくちに湿り気と言っても, そこに含まれる物質の状態は非常に幅広い。では, どのような湿り気が嫌悪的な質感として忌避されるのだろうか。加えて, 嫌悪は汚染恐怖を伴う強迫症など一部の精神疾患とよく関連付けられる感情でもある。であれば, 湿り気の感性的質感認知研究から, 精神病理学的な議論を行う余地もあるのだろうか。当日は, これらのテーマについて論じつつ, 質感研究とイメージ研究の交点についても議論したいと考えている。

引用文献

- 本田 学 (2016). 感性と情動を生み出す脳 小松 英彦 (編) 質感の科学——知覚・認知メカニズムと分析・表現の技術—— (pp.104-123) 朝倉書店
- Oum, R. E., Lieberman, D., & Aylward, A. (2011). A feel for disgust: tactile cues to pathogen presence. *Cognition and Emotion, 25*, 717-725.

スケジュール

午前の部

<研究発表 I > 9:20～10:40

座長：大平 泰子

9:20～9:40 (発表)

①空想傾性の発達形成モデルの実証的研究

—多母集団同時分析を用いた幼少期養育関係による差異の検討—

東洋大学大学院社会学研究科

東洋大学社会学部

○ 山崎 有望

松田 英子

9:45～10:05 (発表)

②悪夢のイメージリハーサルセラピーにおけるイメージリスキプトの分類

東洋大学社会学部

岩手大学人文社会科学部

○ 松田 英子

松岡 和生

10:10～10:30 (発表)

③Covid-19 パンデミックは夢にどのような影響を与えたのか (2)

—悪夢は増えたのか—

文教大学人間科学部

○ 岡田 斉

-----休憩 10:40～10:50-----

<研究発表 II > 10:50～12:10

座長：松野 真

10:50～11:10 (発表)

①アファンタジア (心像多様性) における心的イメージ の特徴

—著書 「アファンタジア」 の 当事者 エピソード から

福島大学人間発達文化学類

尚絅学院大学総合人間科学系心理部門

○ 高橋 純一

行場 次朗

11:15～11:35 (発表)

②ハイパーファンタジアとしての直観像素質者と共感覚者の認知特性

岩手大学人文社会科学部

岩手大学人文社会科学部

岩手大学人文社会科学部

東洋大学社会学部

○ 松岡和生

川原 正広

山口 浩

松田 英子

11:40～12:00 (発表)

③視覚的ワーキングメモリ容量と視覚的イメージ容量に関わる能力の関係性についての検討

北海道大学大学院文学研究院

○ 森本 琢

-----昼休憩 12:10～13:00-----

-----フリーディスカッション 13:00～13:40-----

-----休憩 13:40～14:00-----

※フリーディスカッションは任意で、ご希望があれば、Zoom のブレイクアウトルームをご用意します。

午後の部

<招待講演> 14:00～15:00

嫌悪的な質感の研究

—視覚的な湿り気知覚の感性的質感認知—

企画者・司会者 就実大学教育学部

鈴木 国威

講演者 大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科

岩佐 和典

-----休憩 15:20～15:30-----

<研究発表Ⅲ> 15:30～16:30

座長：堀内 正彦

15:30～15:50 (発表)

①運動妨害が Visual motion imagery の鮮明性に及ぼす影響

北海道大学大学院文学研究院

○ 今井 史

北海道大学大学院文学研究院

小川 健二 #

15:55～16:15 (発表)

②ブラインドサッカー学習者の運動イメージ生成スキルの特徴

常葉大学教育学部

○ 百瀬 容美子

防衛大学校

小坪 昭仁

北星学園大学短期大学部

藤木 晶子

-----休憩 16:30～17:00-----

<総会> 17:00～17:30 ※大会とは別の Zoom ミーティングルームになります。

-----休憩 17:30～17:40-----

<懇親会> 17:40～19:00 ※大会と同じ Zoom ミーティングルームで行います。

※ #は非会員の発表者となります。